

男女共同参画に関する市民意識調査等実施の概要

1 男女共同参画に関する市民意識調査

(1) 調査目的

第3次久喜市男女共同参画行動計画の策定にあたり、男女共同参画に関する市民の意識や実態を把握し、計画策定に反映させるための基礎資料とするため

(2) 調査対象 令和3年9月1日時点で久喜市に居住する18歳以上の
男女各1,000人(総数2,000人)

(3) 調査期間 令和3年10月1日(金)～令和3年10月22日(金)

(4) 調査方法 無記名、選択式

郵送により調査票・回答票を配布

電子申請サービスによるWEB回答もしくは回答票の郵送返信による回答

(5) 調査内容(9項目34問)

①男女平等に関する意識について(3問)

②家庭生活や地域活動について(5問)

③男女の就業・仕事について(6問)

④男女の社会参画について(3問)

⑤学校教育について(2問)

⑥セクシャル・ハラスメントについて(1問)

⑦配偶者などからの暴力(ドメスティック・バイオレンス)について(3問)

⑧久喜市の男女共同参画の推進施策などについて(3問)

⑨回答者について(8問)

※平成22年及び28年に実施した意識調査の設問を基に、社会情勢の変化も考慮して調査を実施し、過去の調査結果と比較して本市の現状及び課題を把握するもの。

(6) 回収率 43.5%(有効回答869人)

内訳:女性463人、男性366人、その他(または答えたくない)19人、
無回答21人

(7)第2次行動計画における目標数値(集計結果抜粋)

	指標項目	前回調査	今回調査	目標
1	社会全体の中で男女平等と感じる人の割合	17.6%	15.7%	30%以上
2	男女共同参画の周知度	53.1%	60.9%	80%以上
3	「男は仕事、女は家庭」という考えを見直す意識(考えに同感しない人の割合)	42.3%	53.3%	80%以上
4	家庭生活で男女平等と感じる人の割合	40.7%	37.6%	50%以上
5	職場の中で男女平等と感じる人の割合	24.0%	26.9%	30%以上
6	デートDVという言葉を知ったことがある人の割合	43.4%	58.7%	60%以上
7	DV被害者のうち、誰かに相談した人の割合	14.8%	22.9%	30%以上

※第2次行動計画における目標数値のうち、市民意識調査を基礎資料としている指標項目です。

※「2 男女共同参画の周知度」前回調査時は「男女共同参画」、今回調査では「男女共同参画社会」として調査しました。

2 男女共同参画に関する中学生アンケート調査

(1)調査目的

第3次久喜市男女共同参画行動計画の策定にあたり、今後の本市を担う中学3年生の男女共同参画に関する意識や実態を把握し、計画策定に反映させるための基礎資料とするため

(2)調査対象 市内全中学校 3学年全員

(3)調査期間 令和3年9月1日(金)～令和3年10月6日(水)

(4)調査方法 無記名、選択式

調査票を各学級の電子共有ページに掲載し、生徒が各自のタブレット端末から回答

(5)調査内容(15問)

男女平等に関する意識について

男女の役割、価値観に対する意識について

デートDVに対する意識について

男女共同参画施策に対する意見について

(6)回答率 100% (1,049人)

内訳:女性488人、男性536人、その他(または答えたくない)25人

(7)集計結果抜粋

	項目	割合
1	社会全体の中で男女平等と感じる人の割合	47.2%
2	「男は仕事、女は家庭」という考えを見直す意識(考えに同感しない人の割合)	56.7%
3	家庭生活で男女平等と感じる人の割合	78.2%
4	学校生活の場で男女平等と感じる人の割合	79.8%
5	デートDVの被害に遭った場合、誰かに相談すると考える人の割合	10.2%

※第2次行動計画における目標数値の指標項目のうち、中学生アンケートで回答のあった項目です。